申請人等登録関係書類イメージ入力規準書
（紙申請）

特　許　庁

２０２３年１２月

―業　務　仕　様　書　目　次―

１．　趣旨 １

２．　概要 １

３．　入力蓄積 １

４．　発注 ２

５．　納品 ２

　　５．１　ボリューム識別子（番号）の付与 ２

　　５．２　納品 ２

６．　検収 ２

７．　誤蓄積データの修正 ３

８．　その他 ３

１．趣旨

工業所有権に関する手続等の特例に関する法律及び関係法令の規定により提出された書類については、「書類及び磁気ディスク（フレキシブルディスク）の保存期間に関する規定」（平成４年１１月１６日・４特総第１８０１号）により、比較的早期の書類廃棄を前提とし、「特許庁の使用に係る磁気ディスク（光ディスク）に記録が完了するまで保存する。」としている。そこで、データエントリ業務の一部として登録情報処理機関に行わせるべき業務として、データエントリ電子化規準に記載されていない特許庁の使用に係る磁気ディスクへのイメージ記録方法等（申請人登録に関する書類のみ。）を本規定において定めるものとする。

２．概要

紙申請書類をスキャナで入力し、イメージデータをＤＶＤ－Ｒへ蓄積する。

３．入力蓄積

（１）入力原稿

ｲ)処理の対象となる書面

a. 紙申請書
b. 添付書面
c. その他

ﾛ)入力原稿

a. 入力原稿は、最大Ａ３サイズまでのものとする。
b. 入力原稿の状態が、製本やホッチキス止め等、複数枚の原稿を接着若しくは束ねた状態でないこと（発注原稿が、接着若しくは束ねた状態の場合は、前工程において外すものとする。）。
c. 発注原稿を納めた受付袋には、以下の記述がある。
・受付日

ﾊ)イメージ入力・編集

a. 入力原稿が、Ａ４の場合は、入力されたイメージを有効イメージ範囲とする。
b. 入力原稿が、Ａ４以外の場合は、有効イメージ範囲（必要なイメージの範囲）の切出しを行う。
・有効イメージ範囲が、Ａ４より、大きい場合は、縮小処理によりイメージサイズをＡ４とする。
・有効イメージ範囲が、Ａ４以下の場合は、原寸のままとする。この場合、上下左右中央にイメージデータが配置されるよう余白部分に白ベタのイメージデータを付与し、Ａ４サイズとする。

（２）蓄積方式

ｲ)キーデータ

受付日をキーデータとして、上昇順に記録する。

ﾛ)イメージデータ
線密度２００ｄｐｉのイメージデータとする。（原稿サイズは、デフォルトをＡ４とする）
ﾊ)蓄積媒体
データは、ＤＶＤ－Ｒ（書き込み可能なＤＶＤ）に記録する。
ﾆ)蓄積限界
一枚のＤＶＤ－Ｒに記録する範囲は受付日単位で区切る。
ＤＶＤ－Ｒに記録されるインデックスデータ及びイメージデータの割当は、蓄積資料のデータ長に応じて可変とし、蓄積効率が全体として最適となるように調整する。
ﾎ)暗号化
イメージデータは暗号化をする。

（３）データフォーマット

別紙１のとおり

４．発注

（１）発注方法
発注は毎月1回（ただし、「行政機関の休日に関する法律」に規定する休日及び土曜日は除く。）特許庁出願課より行う。

５．納品

５．１　ボリューム識別子（番号）付与

納品のＤＶＤ－Ｒのラベルには、ボリューム識別子（番号）及び蓄積データの範囲（受付日）等を表示する。

別紙２のとおり

５．２　納品

（１）納品物
ｲ)ＤＶＤ－Ｒ〔正・副〕
ﾛ)各種リスト
a. 納品明細書

（２）納品サイクル
ＤＶＤ－Ｒで毎月一週目の火曜日納品する。（ただし、祝日に当たる場合は翌日とする）

６．検収
検収は上記納品物について納品時に次の人的チェックを行う。

（１）納品日のチェック
（２）納品明細書と納品物の処理日と内容の照合
（３）蓄積媒体とラベル記載内容の照合

（４）蓄積データ一覧表とラベル内容の照合

７．誤蓄積データの修正

（１）誤蓄積データの修正
誤蓄積データは以下のとおりとし、誤蓄積データが発見された場合外注先は適正なデータを再入力する責任を負う。

ｲ)データが記録されていない。
ﾛ)画像フレームが斜めになっている。
ﾊ)画像フレームが上下左右回転している。
ﾆ)線密度が指定されたものと異なる。
ﾎ)画像の濃淡が適正な形で入力されていない。
ﾍ)キー情報と画像データの内容が不一致である。
ﾄ)データが重複記録されている。
ﾁ)データ記録項目・順序が庁指定と異なる。

（２）蓄積方法
ｲ)正しいデータのみを収録する訂正ＤＶＤ－Ｒを作成する。
ﾛ)蓄積は受付番号単位（１件単位）とする。

８．その他

（１）本規準書に記載されていない事項等で不明な点があれば、速やかに庁担当者に通知し、その指示を受けるものとする。

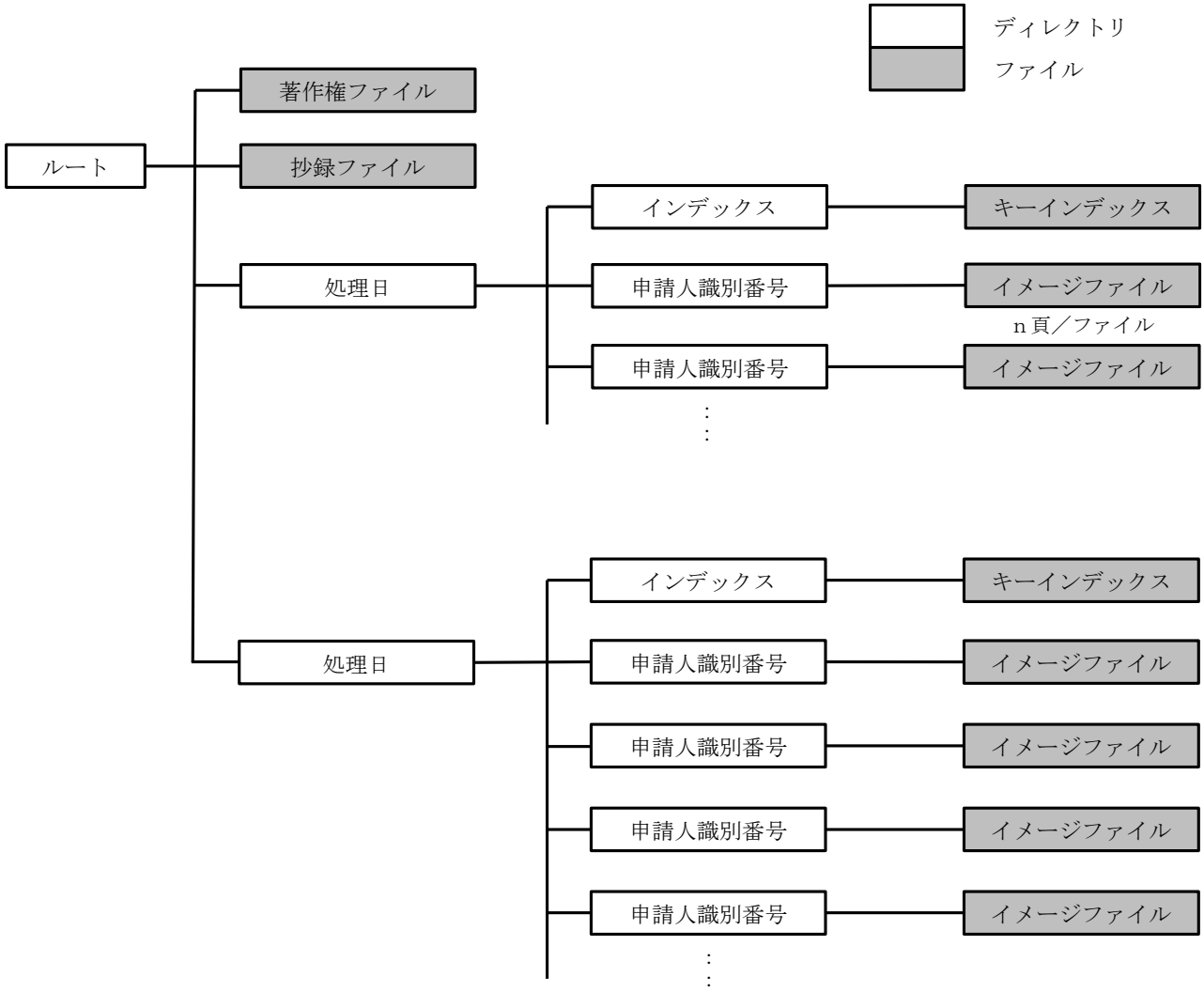
別紙　１

申請人等登録申請書に係るイメージ　ＤＶＤ－Ｒフォーマット

１．物理フォーマット
　物理フォーマットは「ＩＳＯ／ＩＥＣ　１０１４９」に準拠（ＤＶＤ－ＲＯＭ 公報と同じ）

２．論理フォーマット
　論理フォーマットは「ＪＩＳ　Ｘ０６０６－１９９０」の情報交換の水準１に準拠
（ＤＶＤ－ＲＯＭ 公報と同じ）

３．ファイル構成



4.各ディレクトリ及びファイルの概要

1）著作権ファイル（COPYRIGHT）
当該ＤＶＤ－Ｒの著作権について記録するファイル
2）抄録ファイル（ABSTRACT）
当該ＤＶＤ－Ｒに収録した発注番号及び受付番号の範囲を記録するファイル
3）処理日ディレクトリ（例：20030104）
西暦年月日単位のデータを記録するディレクトリ
4）インデックスディレクトリ（INDEX）
検索用のインデックスを記録するディレクトリ
5）キーインデックスファイル（KEYINDEX）
当該識別番号内で、イメージデータを収録した全識別番号を記録したファイル
6）識別番号ディレクトリ（例：識別番号９桁）
識別番号単位のイメージファイルを記録するディレクトリ
7）イメージファイル（例：識別番号９桁.IMG）
イメージデータを記録するファイルで、ＴＩＦＦに準拠する。
ｎ頁を１ファイルで構成。
イメージデータは、白黒２値データとする。

5.各ファイルの詳細
1）著作権ファイル
（1）内容
ＤＶＤ－ＲＯＭの著作権を記録する。
（2）ファイルフォーマット
テキストファイル形式
（3）収録内容
文字列“COPYRIGHT△(C)△JPO”（△は、半角スペース。以下同様）
（4）　ファイル名
COPYRIGHT とする

2）　抄録ファイル
（1）内容
当該ＤＶＤ－ＲＯＭに収録されている全発注番号を記録する。
（2）ファイルフォーマット
制御文字ＣＲ・ＬＦをレコードデリミタとするテキストファイル形式
（3）抄録ファイル（ABSTRACT）の内容

No.	内　容	長さ（ﾊﾞｲﾄ）	内容例	備　考
1	処理日	8	20030102	処理日フォルダ名(YYYYMMDD)
2	区切り	1		スペース（X‘20’）
3	最小識別番号範囲	9	003000010	当該処理日フォルダ内最小識別番号
4	区切り	2	～	
5	最大識別番号	9	803001008	当該処理日フォルダ内最大識別番号
6	区切り	1		スペース（X‘20’）
7	件数	6	001234	当該処理日フォルダ内識別番号件数
8	レコード、デリミタ	2	CR,LF	X’ODOA’

※　上記データが収録処理日の数分繰り返される。

（４）ファイル名
ABSTRACT とする。

３）キーインデックスファイル
（１）内容
当該処理日内のイメージファイルが収録されている全識別番号を記録する。
（２）ファイルフォーマット
制御文字ＣＲ・ＬＦをレコードデリミタとするテキストファイル形式
（３）キーインデックスファイル（KEYINDEX）の内容

No.	内　容	長さ(ﾊﾞｲﾄ)	内容例	備　考
1	識別番号	9	003000010	
2	区切り	1		スペース（X’20’）
3	件数	4	0012	当該識別番号の収録イメージ枚数
4	レコードデリミタ	2	CRLF	

※上記データが収録発注番号の数分繰り返される。
（４）ファイル名
KEYINDEX

４）イメージファイル
（１）内容
１つの識別番号分のイメージデータを記録するファイル。ファイルフォーマットは、TIFFRevision 6.0 Final に準拠する。
（２）イメージファイルの構成
イメージファイルは、ヘッタ、ディレクトリ及びイメージデータで構成する。
ヘッダは、ファイルの先頭に１つだけ記録する。ディレクトリは、ヘッダに続けてイメージファイル内に格納され、イメージデータと同数個記録する。イメージデータは、ディレクトリに続けて記録する。

・イメージファイルの構成

ヘッダ	ディレクトリ 1	ディレクトリ 2	…	ディレクトリ N	イメージデータ 1	イメージデータ 2	…	イメージデータ N

（３）ヘッダフォーマット

ヘッダはファイルの先頭に位置し、内容は固定である。

No.	ヘッダ内 相対位置	意　味	長さ (ﾊﾞｲﾄ)	データ タイプ	内　容
1	０～１	バイトオーダー	２	文字	１１
2	２～３	ＴＩＦＦバージョン番号	２	バイナリ	４２
3	４～７	第１ディレクトリへのポインタ	４	バイナリ	８

※ヘッダ及びディレクトリ内のバイナリタイプの項目は最下位バイト先頭形式で記録する。

（４）ディレクトリ

ディレクトリはイメージデータの属性やイメージデータの記録場所を指すポインタ値などの情報を持つ。ディレクトリはヘッダに続けて記録する。

１つのディレクトリの構造は次のとおり。

ＴＡＧの個数Ｎ	２バイト
ＴＡＧ　１	１２バイト
ＴＡＧ　２	１２バイト
：	
ＴＡＧ　Ｎ	１２バイト
次のディレクトリへのポインタ （次のディレクトリがなければ０）	４バイト
ＴＡＧからポイントされるデータ	

ディレクトリ内のイメージデータの各情報は、ＴＡＧで表す。ＴＡＧの構造を次に示す。

ＴＡＧ・ＩＤ	２バイト
データタイプ	２バイト
単位数	４バイト
ＴＡＧデータまたはポインタ	４バイト

ＴＡＧの先頭のＴＡＧ・ＩＤはこのＴＡＧが何の情報を表しているかを示す。

データタイプは情報のデータ型を示し、以下のいずれかの設定値である。

設定値	データ型	説　明
1	ＢＹＴＥ型	１バイト整数
2	ＡＳＣＩＩ型	文字列（ヌル文字で終わる文字配列）
3	ＳＨＯＲＴ型	２バイト整数
4	ＬＯＮＧ型	４バイト整数

５	ＲＡＴＩＯＮＡＬ型	８バイト分数、ＬＯＮＧ型２個分で 分子と分母を表す

単位数はデータの個数を示す。単位数の次の４バイトにＴＡＧのデータを記録する。ただし、４バイトでデータが記録できない場合には（例えばショート型のデータ２個は記録出来るが３個は記録出来ない）、データを「次のディレクトリへのポインタ」領域以降に記録し、そこへのポインタ（ファイル先頭からのバイトオフセット）を単位数の次の４バイトのエリア「ＴＡＧデータまたはポインタ」に記録する。

ディレクトリフォーマット

No.	位置	意　味		長さ	データ型	内　容
1	0～1	ＴＡＧの個数		2	バイナリ	(後述)
2	2～3	ＴＡＧ１	NewSubfileType	2	バイナリ	２５４
3	4～5		ＬＯＮＧ型	2	バイナリ	4
4	6～9		単位数＝１	4	バイナリ	1
5	10～13		(後述)	4	バイナリ	(後述)
6	14～15	ＴＡＧ２	SubfileType	2	バイナリ	２５５
7	16～17		ＳＨＯＲＴ型	2	バイナリ	3
8	18～21		単位数＝１	4	バイナリ	1
9	22～23		(後述)	2	バイナリ	(後述)
10	24～25		(空き)	2	バイナリ	0
11	26～27	ＴＡＧ３	ImageWidth	2	バイナリ	２５６
12	28～29		ＬＯＮＧ型	2	バイナリ	4
13	30～33		単位数＝１	4	バイナリ	1
14	34～37		(後述)	4	バイナリ	(後述)
15	38～39	ＴＡＧ４	ImageLength	2	バイナリ	２５７
16	40～41		ＬＯＮＧ型	2	バイナリ	4
17	42～45		単位数＝１	4	バイナリ	1
18	46～49		(後述)	4	バイナリ	(後述)
19	50～51	ＴＡＧ５	BitsPerSample	2	バイナリ	２５８
20	52～53		ＳＨＯＲＴ型	2	バイナリ	3
21	54～57		単位数＝白黒１	4	バイナリ	(後述)
22	58～59		(後述)	2	バイナリ	(後述)
23	60～61		(空き)	2	バイナリ	0

No.	位置	意　味		長さ	データ型	内　容
24	62～63	TAG6	Compression	2	バイナリ	２５９
25	64～65		ＳＨＯＲＴ型	2	バイナリ	3
26	66～69		単位数＝１	4	バイナリ	1
27	70～71		白黒＝４	2	バイナリ	(後述)
28	72～73		(空き)	2	バイナリ	0
29	74～75	TAG7	PhotometricInterpretation	2	バイナリ	２６２
30	76～77		ＳＨＯＲＴ型	2	バイナリ	3
31	78～81		単位数＝１	4	バイナリ	1
32	82～83		白黒＝０	2	バイナリ	(後述)
33	84～85		(空き)	2	バイナリ	0
34	86～87	TAG8	DocumentName	2	バイナリ	２６９
35	88～89		ＡＳＣＩＩ型	2	バイナリ	2
36	90～93		(後述)	4	バイナリ	(後述)
37	94～97		(後述)	4	バイナリ	(後述)
38	98～99	TAG9	ImageDescription	2	バイナリ	２７０
39	100～101		ＡＳＣＩＩ型	2	バイナリ	2
40	102～105		(後述)	4	バイナリ	(後述)
41	106～109		(後述)	4	バイナリ	(後述)
42	110～111	TAG10	StripOffsets	2	バイナリ	２７３
43	112～113		ＬＯＮＧ型	2	バイナリ	4
44	114～117		単位数＝１	4	バイナリ	1
45	118～121		(後述)	4	バイナリ	(後述)
46	122～123	TAG11	Orientation	2	バイナリ	２７４
47	124～125		ＳＨＯＲＴ型	2	バイナリ	3
48	126～129		単位数＝１	4	バイナリ	1
49	130～131		(後述)	2	バイナリ	(後述)
50	132～133		(空き)	2	バイナリ	0
51	134～135	TAG12	SamplesPerPixel	2	バイナリ	２７７
52	136～137		ＳＨＯＲＴ型	2	バイナリ	3
53	138～141		単位数＝１	4	バイナリ	1
54	142～143		白黒＝１	2	バイナリ	(後述)
55	144～145		(空き)	2	バイナリ	0

No.	位置	意　味		長さ	データ型	内　容
56	146～147	TAG13	RowsPerStrip	2	バイナリ	２７８
57	148～149		ＬＯＮＧ型	2	バイナリ	4
58	150～153		単位数＝１	4	バイナリ	1
59	154～157		(後述)	4	バイナリ	(後述)
60	158～159	TAG14	StripByteCounts	2	バイナリ	２７９
61	160～161		ＬＯＮＧ型	2	バイナリ	4
62	162～165		単位数＝１	4	バイナリ	1
63	166～169		(後述)	4	バイナリ	(後述)
64	170～171	TAG15	Xresolution	2	バイナリ	２８２
65	172～173		ＲＡＴＩＯＮＡＬ型	2	バイナリ	5
66	174～177		単位数＝１	4	バイナリ	1
67	178～181		(後述)	4	バイナリ	(後述)
68	182～183	TAG16	Yresolution	2	バイナリ	２８３
69	184～185		ＲＡＴＩＯＮＡＬ型	2	バイナリ	5
70	186～189		単位数＝１	4	バイナリ	1
71	190～193		(後述)	4	バイナリ	(後述)
72	194～195	TAG17	T6Options(Group4Options)	2	バイナリ	２９３
73	196～197		ＬＯＮＧ型	2	バイナリ	4
74	198～201		単位数＝１	4	バイナリ	1
75	202～205		圧縮＝０	4	バイナリ	0
76	205～207	TAG18	ResolutionUnit	2	バイナリ	２９６
77	208～209		ＳＨＯＲＴ型	2	バイナリ	3
78	210～213		単位数＝１	4	バイナリ	1
79	214～215		(後述)	2	バイナリ	2
80	216～217		(空き)	2	バイナリ	0
81	218～219	TAG19	JPEGProc	2	バイナリ	５１２
82	220～221		ＳＨＯＲＴ型	2	バイナリ	3
83	222～225		単位数＝１	4	バイナリ	1
84	226～227		(後述)	2	バイナリ	(後述)
85	228～229		(空き)	2	バイナリ	0
86	230～231	TAG20	JPEGInterchangeFormat	2	バイナリ	５１３
87	232～233		ＬＯＮＧ型	2	バイナリ	4
88	234～237		単位数＝１	4	バイナリ	1
89	238～241		(後述)	4	バイナリ	(後述)

No.	位置	意　味		長さ	データ型	内　容
90	242～243	TAG21	JPEGQTables	2	バイナリ	５１９
91	244～245		ＬＯＮＧ型	2	バイナリ	4
92	246～249		単位数＝３	4	バイナリ	1
93	250～253		(後述)	4	バイナリ	(後述)
94	254～255	TAG22	JPEGDCTables	2	バイナリ	５２０
95	256～257		ＬＯＮＧ型	2	バイナリ	4
96	258～261		単位数＝３	4	バイナリ	3
97	262～265		(後述)	4	バイナリ	(後述)
98	266～267	TAG23	JPEGACTables	2	バイナリ	５２１
99	268～269		ＬＯＮＧ型	2	バイナリ	4
100	270～273		単位数＝３	4	バイナリ	3
101	274～277		(後述)	4	バイナリ	(後述)
102	278～281	次ディレクトリへのポインタ		4	バイナリ	(後述)
103	282～329	文献番号(受付番号)		48	文字	(後述)
104	330～337	イメージデータのＩＤ(ページ番号)		8	文字	(後述)
105	338～391	Ｘ方向解像度　分子		4	バイナリ	(後述)
106	392～395	Ｘ方向解像度　分母		4	バイナリ	1
107	396～399	Ｙ方向解像度　分子		4	バイナリ	(後述)
108	400～403	Ｙ方向解像度　分母		4	バイナリ	1
109	404～409	１画像構成あたりのビット数		6	バイナリ	(後述)
110	410～421	量子化テーブルへのアドレス		12	バイナリ	(後述)
111	422～433	ＤＣＴへのアドレス		12	バイナリ	(後述)
112	434～445	ＡＣＴへのアドレス		12	バイナリ	(後述)

※ TAG19～TAG23 (No.81～101) と量子化テーブルへのアドレス(No.110)、ＤＣＴへのアドレス(No.111)、ＡＴＣへのアドレス(No.112)はイメージデータがカラー画像(ＪＰＥＧ)の場合に設定される。

・No.１　白黒図面の場合１８。
白黒図面では、No.81(TAG19)から No.101(TAG23)と No.110 量子化テーブルへのアドレスから No.112ＡＣＴへのアドレスの項目設定はしない。

・No.５　同じファイル内にある別のイメージとの関係について記録する。値が１である場合には、別のイメージの低解像度版である。
値０：同じ内容の４００dpi のイメージデータが存在しない２００dpi のイメージデータか、同じ内容の２００dpi のイメージデータが存在する４００dpi のイメージデータを示す。
値１：同じ内容の４００dpi のイメージデータが存在する２００dpi のイメージデータを示す。

・No.９　No.５と同じ内容に、同じファイル内にある別のイメージとの関係について記録する。
値１：No.　５が０の場合
値２：No.　５が１の場合

・No.14　Ｘ（水平）方向のピクセル数を記録する。

・No.18　Ｙ（垂直）方向のピクセル数を記録する。
・No.21　No.54 と同じ値を記録する。
・No.22　１構成要素あたりのビット数を記録する。白黒図面は値１。
・No.27　イメージデータ圧縮型指定を記録する。
　　値４：白黒図面（Ｇ４Ｆａｘ）
・No.32　色空間指定を記録する。
　　値０：白黒図面（白が０）
・No.36　文献番号(No.82)の長さを記録する。値４８。
・No.37　文献番号(No.82)へのポインタ値を記録する。このディレクトリ先頭のバイトオフセットをｎとするとポインタ値はｎ＋２２２である。
・No.40　イメージデータのＩＤ(No.83)の長さを記録する。値８
・No.41　イメージデータのＩＤ(No.83)へのポインタを記録する。このディレクトリ先頭のバイトオフセットをｎとするとポインタ値はｎ＋２７０である。
・No.45　イメージデータのポインタ値を記録する。
・No.49　イメージデータの向きを記録する。
　　値１：上向きのイメージデータ。
　　値３：下向きのイメージデータ。
　　値６：左に９０°回転したイメージデータ。
　　値８：右に９０°回転したイメージデータ。
・No.54　１ピクセル当たりの構成要素数を記録する。
　　値１：白黒図面
・No.59　No.18 と同じ値を記録する。
・No.63　イメージデータのバイト数を記録する。
・No.67　Ｘ方向解像度(No.106)へのポインタ値を記録する。このディレクトリ先頭のバイトオフセットをｎとすると、ポインタ値はｎ＋２７８である。
・No.71　Ｙ方向解像度(No.108)へのポインタ値を記録する。このディレクトリ先頭のバイトオフセットをｎとすると、ポインタ値はｎ＋２８６である。
・No.79　Ｘ方向解像度及びＹ方向解像度と組み合わせて使用する際の測定単位。値２はインチを単位とする。
・No.84　ＪＰＥＧの圧縮方式。値１（Baseline Sequential process）
・No.89　ＪＰＥＧのマーカーＳＯＩ（Start Of Image)へのポインタ値を記録する。
・No.93　量子化テーブル０、量子化テーブル１、量子化テーブル１の順でそのアドレスが格納されたアドレスを記録する。
・No.97　ＤＣＴ０、ＤＣＴ１、ＤＣＴ１の順でそのアドレスが格納されたアドレスを記録する。
・No.101　ＡＣＴ０、ＡＴＣ１、ＡＣＴ１の順でそのアドレスが格納されたアドレスを記録する。
・No.102　次ディレクトリへのポインタ値を記録する。このディレクトリ先頭のバイトオフセットをｎとすると、ポインタ値はｎ＋３００である。このディレクトリが最後のディレクトリの場合は値０を記録する。
・No.103　受付番号を記録する。受付番号は、１バイトコードを左詰めで記録し、空き領域には、０（0x00）を付加する。
・No.104　受付番号内の頁番号を記録する。頁番号は、１バイトコードを左詰めで記録し、空き領域には、０（0x00）を付加する。
・No.105　Ｘ方向の解像度を記録する。
・No.107　Ｙ方向の解像度を記録する。No.84 と同じ値を記録する。
・No.109　１画像構成要素あたりのビット数を記録する。
・No.110　量子化テーブル０、１、１、の順でそのアドレスを記録する。
・No.111　ＤＣＴ０、ＤＣＴ１、ＤＣＴ１の順でそのアドレスを記録する。
・No.112　ＡＣＴ０、ＡＣＴ１、ＡＣＴ１の順でそのアドレスを記録する。

（５）イメージデータ

イメージデータは、実際の図面データを表す。イメージデータは、ディレクトリに続けて記録する。白黒図面の符号化は、『ＣＣＩＴＴ勧告　Ｔ．６ベーシックファクシミリ符号化方式（二次元圧縮方式)』を用い、カラー図面の符号化には、『カラー静止画符号国際標準化方式（ＪＰＥＧ；Joint Photographic Expect Group 方式)』を用いる。

イメージファイルで利用するタグ一覧を次に示す。

・イメージファイルで利用するタグ一覧

No.	利用ＴＡＧ名	ＴＡＧ・ＩＤ		データ型	説　明
1	NewSubfileType	254	(FE)	Long	サブファイルのデータ種別
2	SubfileType	255	(FF)	Short	サブファイルのデータ種別
3	ImageWidth	256	(100)	Long	Ｘ（水平）方向のピクセル数
4	ImageLength	257	(101)	Long	Ｙ（垂直）方向のピクセル数
5	BitsPerSample	258	(102)	Short	１構成要素あたりのビット数
6	Compression	259	(103)	Short	データ圧縮型指定
7	PhotometricIntepretation	262	(106)	Short	色空間指定
8	DocumentName	269	(10D)	Ascii	文献番号へのポインタ
9	ImageDescription	270	(10E)	Ascii	イメージデータのＩＤへのポインタ TIFF with JPEG の場合、JPEG の SOS へのポインタ
10	StripOffsets	273	(111)	Long	イメージデータへのポインタ
11	Orientation	274	(112)	Short	イメージの向き
12	SamplesPerPixel	277	(115)	Short	１ピクセル当たりの構成要素
13	RowsPerStrip	278	(116)	Long	１ストリップの行数（＝ImageLength)
14	StripBypeCounts	279	(117)	Long	イメージデータのバイト数
15	Xresolution	282	(11A)	Rational	Ｘ（水平）方向の画像解像度
16	Yresolution	283	(11B)	Rational	Ｙ（垂直）方向の画像解像度
17	T6Options(Group4Options)	293	(125)	Long	Ｔ６エンコードオプション（圧縮)
18	ResolutionUnit	296	(128)	Short	解像度単位指定（inch)
19	JPEGProc	512	(200)	Short	JPEG の圧縮方式
20	JPEGInterchangeFormat	513	(201)	Long	JPEG のマーカーＳＯＩへのポインタ
21	JPEGQTables	519	(207)	Long	量子化テーブルへのポインタテーブルを参照するためのポインタ
22	JPEGDCTables	520	(208)	Long	ＤＣＴへのポインタテーブルを参照するためのポインタ
23	JPEGACTables	521	(209)	Long	ＤＣＴへのポインタテーブルを参照するためのポインタ

※カラーイメージがない場合は上記表の№１９～№２３のタグは使用しない。

別紙　２

ＤＶＤ－Ｒボリューム識別子

１．ＤＶＤ－Ｒへの格納方法－ボリューム名の付与

ＤＶＤ－Ｒのボリューム名は、業務内容により次の形式で付与される。

（１）　ボリューム名付与

ex）１　Ｂ　Ｋ　Ｔ　２０２３　０００１

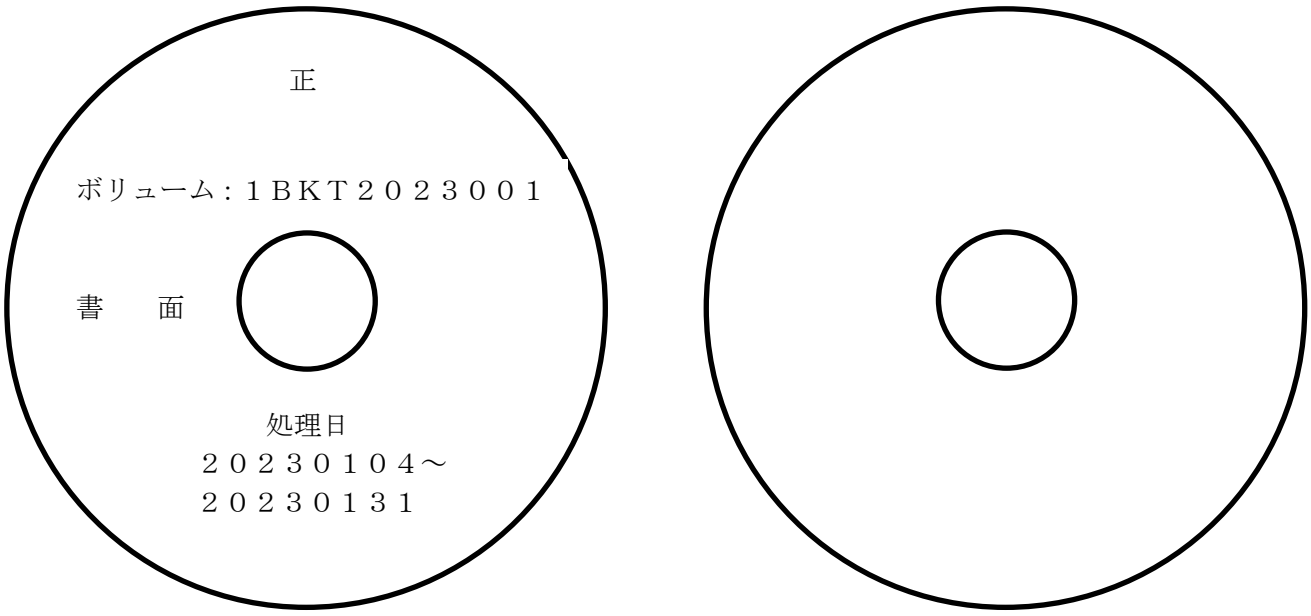
年通号　：書類区分の一連番号
西暦年　：処理の西暦年
書類区分　：手続きの書類区分として
申請人等登録　……Ｔ

書面　：手続媒体
書面（紙）　……Ｋ

アップ分・バック分の区分
：アップ分　……Ｕ
：バック分　……Ｂ

通常分／修正分　：通常分　……１
：修正分　……９

（２）　ＤＶＤ－Ｒのレーベル

ＤＶＤ－Ｒの表面（印刷面）には、ボリューム識別子および「処理日区分」を印刷する。

例）